

かなえ

第126号(令和5年4月)

医療法人社団 三和病院

松戸市日暮7-379 ☎047-712-0202

<https://sanwa-hp.jp/>



医療法人社団 八柱三和クリニック

松戸市日暮1-16-2 ☎047-312-8830

<https://sanwa-cl.jp/>



ラ・フロリスタ花喜

ここ、松戸市二十世紀ヶ丘荻町23-1にモダンな花屋さんがある。店全体がレンガ色をした造りとなっており、円筒の壁や屋根、外壁がピンク色である。庭も花々がいっぱい。街路灯のランプも園内を照らす。展示場には門の入り口から展示場に入ると、鉄道の枕木を使いその上に各種の花が咲くプランターが置かれている。

庭からのアーチをくぐると応接間の椅子セットがあり花々が飾られている。こんな生活もステキに思える。また、別室には熱帯植物の部屋もある。とにかくモダンなデザインである。季節の花は、赤、白、黄に彩られ、楽しい空間がそこにあった。小生も鉢植えを2・3個買い求めた次第である。とにかく意匠性のある店であった。(水曜は定休とのこと)

絵、文 菅谷功 2023年4月





患者さんのHbA1cの目標が分る医師を 主治医と呼ぶ

理事長 齊藤 丈夫 外来診療日 三和病院：月曜AM・水曜PM
クリニック：火曜AM・木曜AM・金曜AM・土曜AM

◆医学生向けの有名な教科書がありますが、糖尿病の巻頭に次のような文書が載りました。「糖尿病が原因となって生じるスティグマや社会的不利益、いわれのない差別が問題となっており、アドボカシー活動などを通じてこれらを取り除くように努力することも、糖尿病の治療上不可欠である」(朝倉内科学 2022年版)。スティグマ(Stigma)とは、病気を恥ずかしいことと思うことや病気による劣等感のこと、アドボカシー(Advocacy)とは、弱い立場の患者さんを擁護する運動や活動のことだそうです。最近では患者さん向けの雑誌などでもこの言葉を目にします。使われ始めたのは糖尿病学会のようです。私はこの言葉を知らなかったので英和辞典を引いてしまいました。耳慣れない外国語を使わなければならない理由はともかく、医療関係者が国民を啓蒙するみたいな、上から目線は、何とかならないのかと思います。そもそも糖尿病患者さんに対する社会の差別意識があると言うなら、それを助長してきたのはいったい誰なのでしょう。

◆糖尿病は成人病の一つとされていました。成人病に代わって「生活習慣病」という病名が提唱された時、少なくとも私の周りでは新しい病名を好ましいと思った人はいませんでした。この病名を使い始めた高名な医師は、生活習慣が治療の重要な位置を占めるという意味を込めたものと信じていますが、言葉のイメージは一人歩きするものです。成人病では、「年齢を重ねると自然に発症率が高くなる病気」と捉えることができましたが、生活習慣病となると、「生活習慣が悪いことが発症の要因になった」というイメージに繋がりがすくなりました。自己責任という見方は政治家の方々には都合なので、この病名は当然のように歓迎されました。しかし医療に携わる者なら反対すべきだったのです。当時、組織として意見が言える力があつたのは糖尿病学会だったと思いますが、他のことに熱心だったようで素通りしてしまいました。糖尿病の本質は膵臓のβ-細胞(インスリンを分泌する細胞)の機能低下です。欧米には肥満している人も少なくありませ

んが、めったに糖尿病を発症しません。生活習慣が悪かったから発症したと思われるようなことがあるとすれば、多くの患者さんは納得できないと思います。

◆現場では誰も賛成しないのに、いつのまにか決まってしまうことが、世の中ではありがちなようです。避けて通れないのは、糖尿病学会が作成した「血糖値のコントロールの指標と評価」という悪名高い図表です。HbA1c(平均的な血糖値を推測する血液検査)で患者さんが振り分けられます。HbA1c=6.2%未満が優です。7.0%でも不十分であり、8.0%では不良です。8.5%もあれば、不良にも値しないということなのでしょう、不可となります。不可という言葉には「あってはならない、到底受け入れられない」という強い非難が込められているように感じてしまいます。診療現場で患者さんと向き合っている医師であれば、頭が下がるほどの努力をしても、HbA1c=9.0%が精いっぱい患者さんがいることを知っています。一人でも臨床医が参加していれば、不可などという文言を入れることは認めなかったはず。

◆この表は糖尿病関連の至るところに貼り付けられました。専門外の医師が簡便に糖尿病の知識を得るためのガイドライン(つまり初心者向けマニュアル)にも載りました。低血糖の危険を顧みず、ひたすら「優」を目指す弊害や、コントロールが悪いと管理不良と決めつける風潮の元凶になりました。臨床現場からは悲鳴に近いような苦情が出ましたが、長年放置された後にやっと撤廃されました。車ならリコールで済みますが、人に記憶に残ってしまったものは取り戻せません。

◆主治医には良くやっているとはめられている患者さんでも、他科の医師にHbA1cを聞かれて、「糖尿病が悪すぎる」と言われてしまいます。中には「糖尿病の先生はこれでいいと言っているの?」と首を傾げる先生もいます。悪いと言われるくらいならまだよいのです。手術を受けたければHbA1c=7.0%にしてから出直してきなさいと、突き放される患者さんが今でも後をたちません。他科の先生から見れば無理からぬこ

とかもしれません。何しろHbA1c=8.5%もあれば糖尿病学会の判定では「不可」なのです。もちろん、待機できる手術であって、患者さんの努力次第で改善できるのであれば、手術を目標に頑張ることは有意義なことです。しかし何度でも言いますが、HbA1c=9.0%でも、それが精一杯の患者さんもいるのです。このような患者さんにHbA1c=7.0%を要求するとすれば、低血糖で命を縮めると言っている様なものなのです。

◆私は次のような紹介状を書くことにしています。まず低血糖の危険を避けながら、手術の基準となっているHbA1cを達成することが無理難題であることを、分かってもらえるように丁寧に説明します。さらに必要な手術を見送った場合、糖尿病だからこそ見通しが悪いということも、抜きさらず書き添えます。手術をしなかった時のリスクをことさら強調して、受け取った側は不愉快かもしれません。手術のリスクを軽視できない医師の立場も理解できるからこそ、このくらいのことを書くのは内科の主治医の役割だと思っています。紹介状にも礼儀がありますが、それはまあよいのです。とにかく必要な手術なら、やってもらわなければ困るからです。

◆もとより、国民が糖尿病という病気に対して偏見を持

つ理由など何もありません。偏見があるとすれば、それを作ってきたのは他でもない医療関係者であり、もっと言えば医師です。少なくともHbA1cが悪いのは患者さんの不節制が原因と決めつけるのだけは止めてほしいと思います。HbA1cの目標は患者さん一人一人違うので、個別に設定しなければなりません。これは糖尿病の診療の基本だったはず。HbA1cの目標が分かることが、すなわち患者さんのことが理解できているということです。HbA1c=7.0%でも叱咤激励しなければならない患者さんもいれば、HbA1c=9.0%でもその努力に敬意を払うべき患者さんもいます。

◆糖尿病の世界には、Fair-コントロール(良好には該当しないが、患者さんにとっては適正で安全なコントロール)という、懐の広い言葉もあったのです。たった1つの数値で患者さんを評価して「不可」と決めつけるような狭量は、いつから生まれたのでしょうか。題名に挙げたのは、有名な言葉でも何でもなく、私の独り言のようなものです。朝倉内科学に掲げられた崇高な理念とは比べようがありませんが、こんな簡単な言葉でも、医療関係者の共通の認識になることを願っています。



4月1日~マイナ保険証が始まりました

当院では、2023年4月1日からマイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになり、この事を「マイナ保険証」と称します。

はじめに、マイナ保険証をする場合は、事前に登録申請が必要になります。役所などでマイナンバーカードを発行するだけではご利用になれませんのでご注意ください。

昨今、テレビなどでご存じの方も多いかもしれませんが、この記事ではマイナ保険証をするどんなメリットがあるかお話しします。



●よりよい医療が受けられます

医療機関を受診した際にお薬の情報や特定健診結果(※1)の提供に同意すると、医師からご自身の情報に基づいた総合的な診断や、重複する投薬を回避した適切な処方を受けることができます。また、災害時や旅行先でもお薬情報などの連携が可能になります。

※1 特定健診結果とは、40歳以上の方が対象で、生活習慣病予防検診、特定健康診査、事業主が実施する定期健康診断のうち「身長・体重・腹囲・血圧・尿検査・血液検査等」が閲覧可能です。

●窓口で限度額以上の支払いが不要になります

高額な医療費が発生する場合でも、マイナ保険証を使うこ

とで、ご自身で高額な医療費を一時的に自己負担したり、役所で限度額適用認定証(※2)の書類申請手続きが不要になります。

※2 限度額適用認定証とは、自己負担額を所得に応じた限度額にする証明書の事です。

●確定申告の医療費控除が簡単にできます

マイナポータル(※3)から保険医療を受けた記録が参照できるため、領収書を保管・提出する必要がなく、簡単に医療費控除の申請ができます。

※3 マイナポータルとは、みなさんの特定個人情報などが集約されたサイトです。

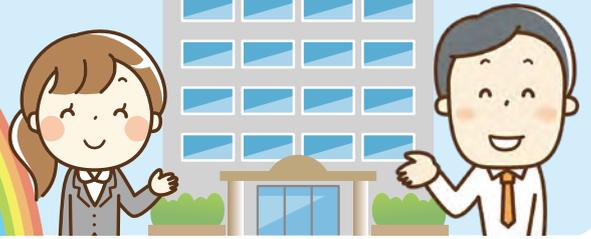
●就職・転職・引越後も健康保険証としてすぐに利用できます

新しい健康保険証の発行を待たずに、医療機関・薬局を利用できます。

このさまざまなサービスが受けられるマイナ保険証ですが、調べられない情報があります。それが、各種公費に関する内容です。保険証+各種公費負担受給者証をこれまでお持ちの方は今後も持参が必要になります。

病院側だけでなく、みなさんのこれまで面倒だった手続き等が不要になる仕組みになってるようです。もちろん、従来通り現在お持ちの健康保険証も使用できますのでご安心ください。詳しくは、厚労省ホームページをご覧ください。わかりやすく説明されています。

鼎会からの お知らせ



休診のお知らせ

三和病院

- 4月20日(木)…… 泌尿器科 堀内 俊秀 医師
(4月27日へ変更)
- 4月22日(土)…… 内 科 池 成基 医師
- 4月24日(月)…… 内 科 高林克日己 医師
- 4月25日(火)…… 内 科 安東 泰希 医師
- 4月26日(水)…… 内 科 高林克日己 医師
- 4月28日(金)…… 乳腺外科 渡辺 修 医師
- 5月13日(土)…… 内 科 三崎 麻子 医師
- 5月26日(金)…… 乳腺外科 渡辺 修 医師
- 5月30日(火)…… 内 視 鏡 宇田川 勝 医師
- 5月31日(水)…… 消化器外科 宇田川 勝 医師

八柱三和クリニック

- 5月11日(木)…… 内 科 橋場 良 医師



医療法人社団鼎会への寄付金のご協力をお願いしております

医療法人社団鼎会基金へのご協力ありがとうございました

多数の方々よりご協力をいただきました基金の募集は一旦終了とさせていただきます。皆様のご協力ご支援に深く感謝申し上げます、心より御礼申し上げます。ご協力いただきました基金につきましては引き続き大切に運用させていただきます。

三和病院開設以来、皆様のご理解とご協力の下、地域に根差した医療活動を運営してまいりました。新しい医療機器の購入や室料差額無料など、より良い医療の提供や患者様の負担を軽減する運用を継続していくために一層の努力を重ねてまいります。



寄付金につきましては引き続きご協力をお願いしております。

詳細につきましては下記にお問い合わせください。

医療法人社団鼎会総務課 TEL047-712-0202

三和病院・八柱駅間

シャトルバス運行予定表

八柱駅発		三和病院発
8時	30 50	40
9時	10 30 50	00 20 40
10時	30 50	20 40
11時	10 30 50	00 20 40
12時	30 50	20 40
13時	10 30	00 20 50*
昼休み		*土曜日のみ運行 土曜の最終便
14時	20 40	10 30 50
15時	00 20 40	10 30
16時	20 40	10 30 50
17時	00 20	10 30 45*



※この便は状況に応じて増便いたします。
 ※交通状況等によって時間通りに運行できないことがあります。
 ※日曜・祝日・年末年始(12/30~1/3)は運行していません。
 ※定められたバス停などはございません。
 ※八柱駅の交番前を目安に発着しております。
 ※八柱駅前のロータリーの駐車状況によっては、交番前に停車できない場合がございます。その際は、ロータリー内の可能なスペースに停車致しますので、ご了承下さいませ。